



祇園石段下に出てきたデモ隊のみなさん  
(3.6 提供・京都フォトニュース)

福島原発事故から10年目にあたり、集会は、全員の黙とうから始まりました。武藤類子さんを迎え、「福島原発事故の責任を誰がとるのか」と題しての講演をメインスピーチとして、その他4名から各分野からの報告が行われました。武藤さんのお話は、「原発裁判・福島原発の現状・新たな放射性物質の拡散・小児性甲状腺ガン・伝承と教育・原子力勢力の復活・本当の復興について」と7つのテーマで構成され、現状の分析と抱える問題点が網羅された内容でした。「原発賠償京都訴訟原告団」から避難者の生活と健康を守る闘いの

報告が、「日本科学者会議京都支部」の市川さんから、原発事故から住民を守る対策の相次ぐ撤退について、「気候ネットワーク」の延藤さんから、脱炭素社会に向けたエネルギー政策について、「若狭の原発を考える会」橋田さんから、「老朽原発うごかすな！」行動について報告がありました。この集会で、唯一の行動提起の発言となったのは、橋田さんの「老朽原発うごかすな！実行委員会」のこれまでの数々の行動の報告と、これからの老朽原発再稼働阻止に向けた行動、主に3・20「関電よ

東日本大震災と東京電力福島第1原発事故の発生から10年になるのを前に、さよなら原発福井県集会(個人と団体で構成する実行委員会)が7日、福井市フェニックスプラザ大ホールなど県内3か所で開催され合計230名を超える人が参加しました。当日はユーチューブで配信されて、集会のライブ視聴も230か所以上でありました。共同代表で小浜市の明通寺住職の中島哲演さんが主催の

あいさつで「フクシマ10年間の痛みと今後の切実な希望に真に連帯するために、大きくは地球環境の危機をのりこえていく一環として、原発のない福井への歩みを」と呼びかけました。「ぐくしま復興共同センター」代表委員の斎藤富春さんが新たに3万6千人以上の避難者が戻れていない現状をビデオメッセージで語り、「核の間貯蔵施設はいらない！下北の会」代表の野坂庸子さんが

福島原発事故から10年目にあたり、集会は、全員の黙とうから始まりました。武藤

類子さんを迎え、「福島原発事故の責任を誰がとるのか」と題しての講演をメインスピーチとして、その他4名

報告が、「日本科学者会議京都支部」の市川さんから、原発事故から住民を守る対策の相次ぐ撤退について、「気候

東日本大震災と東京電力福島第1原発事故の発生から10年になるのを前に、さよなら

あいさつで「フクシマ10年間の痛みと今後の切実な希望に真に連帯するために、大きくは地球環境の危機をのりこえていく一環として、原発の

# 850名が参加 ↓ W・NON高浜へ バイバイ原発3・6きょうと

**老朽原発 うごかすな！**  
**ニュース**  
**第39号**  
発行・老朽原発うごかすな！実行委員会  
[連絡先]  
090-1965-7102

昨年は、コロナ禍で、人が集まることが叶わなかったのですが、今年の「バイバイ原発きょうと」は850名の人に参加され、八坂神社から京都市役所までのデモも、元氣よく貫徹されました。四条通り、河原町通りは、土曜日ということもあり人出も多く、沿道の人たちからは、手を振ったり、「がんばれ！」の声援

も受けました。若者2人が途中でデモの隊列に入り、「原発はダメですよ。頑張ってください。」と言ってくれる場面もありました。集会当日、二人の方から3・20「関電よ 老朽原発うごかすな！高浜全国集会」への京都からのバス乗車申し込みがありました。

## 第10回さよなら原発福井県集会「さよなら原発のない新しい福井へ」



さよなら原発福井県集会2021 in ふくい

「民間事業者の都合による緊急な対応に当事者が引き合いに非難連発であり、事態千変万化でありません。私たちの命も多くの仲間と共にこの問題については青森県から入軍を提出しながら、様々な機会をとりえて市民へ訴えてとりわけ、この共同問題は青森県を核のゴミ捨て場にしようことはもとより、単に現地だけの問題ではなく老朽化原発の隣わり、より全国の原発立地地域の住民を危険に晒すこと訴えています。私たちはもちろん、協定当事者の東電、日本原電の使用済にも断固として反対していきますが「原発の課題として、電事共用化計画を断念させるために全力を尽くす決意です。共に頑張りますよ。」

メッセージ(代読)を寄せました。大阪地裁判決の画期的意義について語った島田広弁護士は、「原発の安全審査の信頼性が揺らいだ」と強調しました。最後に共同代表で福井大学名誉教授の山本富士夫さんが集会アピールを読みあげました。集会後、フェニックスプラザ前から福井地裁前までを約100人が「原発のない新

しい福井へ」「老朽原発の再稼働反対」などと書かれたプラカードを掲げてパレード行

進しました。

(福井 林広員)

## 関電よ❖老朽原発うごかすな！ 高浜現地全国集会に結集を！

あの福島の大惨事から10年がたった今この時、震度6の余震が福島を襲いました。

にもかかわらず原発への影響などに対する新聞、テレビなどは「原発への影響はない」との報道一辺倒。しかも地震後1、2時間後の報道。そんな短い時間で検証もせず原発内部がわかるんかい、ええ加減にせんかい。その後、デブリを冷やす1次冷却水の低下が見つかり冷却水を注入し何とか持ちこたえていると。流れ出た汚染水は海洋へダメージもれではないのか。余震に対する検証報道は少なく「復興の足跡」の報道がばかりが蔓延しています。

新設の原発が我々の運動の前に断念すると思いきや、原発に固執する電力会社は、政府と一体となって温暖化対策・CO2削減を名目に原発再稼働を推進しています。これに対し我々はコロナ蔓延で延期



うつほ公園に1600人 (20.9.6)

美浜、高浜町の議会・町長一体となった再稼働の要請や福井県知事は関電の3年後を目途に県外への使用済み核燃料の中間貯蔵地を検討すると表明したことを受けて、県議会に再稼働同意に向けた議論を要請した。一方で、今(3月12日)の情報によると県議会は「国からの福井県に対する約束事はつきりしない現時点においては審議できない」と知事とも膠着状態が続いている。

を余儀なくされたが、9・6関電本店に向けた「老朽原発うごかすな！大集会」を1600名の結集で成功させた。そんな中12月には大阪地裁で「原発直下の基灌地震動」を平均値で認可するのはおかしい、起こりうる最大値での判断が求められると、誰もが納得できる判決を得て運動の前進を勝ち取った。関電はすぐさま上告し、他方で高浜3号機を3月7日に再稼働させるといふ暴挙に出てきたが、この動きが報復されるや、我々はすぐさま現地正門前へ駆けつけ抗議行動を展開した。

老朽原発の再稼働を取り巻く情勢が緊迫しています。この間の我々が取り組んでいる、舞鶴から福井市へと続く若狭湾一体の市町村各戸への「老朽原発うごかすな」ポスターリング行動や関西一円の様々な取り組みの拡がりを政府や関西電力は恐れています。また4月には高浜4号機の再稼働が目論まれています。電力会社に惑わされてはなりません。3月20日の高浜現地での「関電よ❖老朽原発うごかすな！全国集会の大結集でもって政府・関西電力の野望を打ち砕きましょう。」

(若狭の原発を考える会 小林正明)

### 3・20高浜全国集会

高浜町文化会館で集会  
14時〜15時半  
集会後、町内デモ

16時半解散

【集会前段】高浜原発への抗議行動／11時45分 原発北ゲートの300メートル先にある音海展望台集合・デモ、原発北ゲート前で抗議行動